

富浦地区学校再編検討委員会の検討状況

1. 会議開催状況

令和5年	1月10日	富浦地区学校再編検討委員会第1回会議
	12月19日	保護者対象説明会
令和6年	1月24日	地区住民対象説明会
	2月14日	富浦地区学校再編検討委員会第2回会議
	6月14日	富浦地区学校再編検討委員会第3回会議
	10月29日	富浦地区学校再編検討委員会第4回会議
令和7年	2月20日	富浦地区学校再編検討委員会第5回会議
	6月23日	富浦地区学校再編検討委員会第6回会議
令和8年	1月7日	富浦地区学校再編検討委員会第7回会議

令和5年当初から現在まで、災害時・警報時の通学路への不安、三芳地区を再編に含めないのか、という2点について意見が出ています。事務局からは通学路については専門部会で経路の検討をすること、災害対応は子どもの引渡しについてルールを定めて対応していること、三芳地区は住宅地の造成などで今後の人数推移が読みにくいこともあり今回の再編には含めない考えを説明してきましたが、結論が出せない状況が続いています。

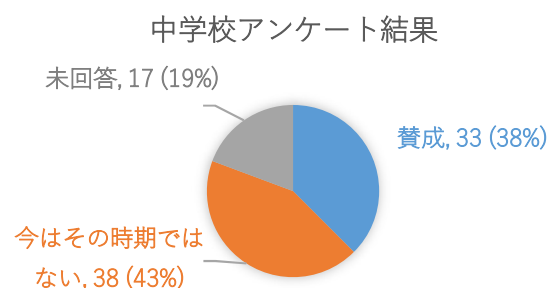
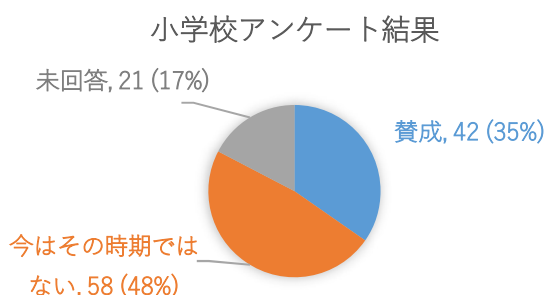
第5回会議では保護者委員より報告があり、「統合に賛成」「今はその時期ではない」の2択で保護者アンケートを行った結果、

小学校：「統合に賛成」42、「今はその時期ではない」58、未回答21

中学校：「統合に賛成」33、「今はその時期ではない」38、未回答17

であったとのことでした。

また委員から、将来的に富山・三芳なども含め、いろいろな角度で再編について検討してほしいとの意見がありました。



(令和6年11月実施 保護者アンケート結果)

2. 令和7年度の協議状況について

令和7年6月23日 富浦地区学校再編検討委員会第6回会議

保護者代表委員より、今回の会議資料を再度保護者に説明し意見を取りまとめたことと要望があったため、説明会を開催することとなりました。

また事務局から、三芳地区を含む再編について、将来的には3校での統合を視野に入れることも必要と考えられるものの、現状、3地区の生徒数を収容できる校舎がないこと、特別支援学級の増加によって以前より必要な教室数が増えている状況などを説明し、現状は2校での統合を協議いただく考えを説明しました。

令和7年7月24日 富浦地区学校再編に関わる保護者説明会

富浦小中学校PTA主催の説明会が開催されました。参加者は約70名。教育委員会は説明者として出席し、生徒数の推移、教員配置、富浦地区学校再編検討委員会の検討状況を説明したのち、質疑応答を行いました。

令和7年9月11日 PTA役員による自由意見調査

PTA役員において、説明会資料と会議録を保護者に周知し、富浦中学校と富山中学校の2校の統合について意見を募集しました。

回答数72：賛成意見27・反対意見24・賛成反対両方記載21

令和7年11月10日 PTA役員によるアンケート

PTA役員において、自由意見調査の結果を保護者に周知し、富浦中学校と富山中学校の2校の統合について賛否を問うアンケートを実施しました。1票でも多い方を保護者の意見として検討委員会に報告する旨、アンケートに記載されました。

回答数200（重複含む）：賛成91・反対109

令和8年1月7日 富浦地区学校再編検討委員会第7回会議

保護者委員からアンケート結果の報告があり、アンケートにより反対が上回ったことから、保護者としては富浦中学校と富山中学校の2校の統合に反対とし、検討委員会については解散を求めるとの発言がありました。また、今後は保護者側が納得し次に進めるような統合案を提示してもらいたいとの意見がありました。アンケートにより結論を得

ようとした理由については、保護者の代表として統合の是非について決めかねたこと、また、全く話が進まない状態が続いていることから、いずれの結果になろうとも次に進めたいという思いがあったことが説明されました。さらに、委員としてアンケートや意見集約の負担が大き過ぎるため、PTA役員としてはここで終わりにしたいというお話もありました。

区長代表の委員からは、

「それぞれで話し合っ、これがよかろうということ、むしろその中で判断をしていく委員会ではないか。もうちょっと考えてもう一回やれないだろうか。」

「このまま小規模になって良いのかという事を考えている方は、反対意見の中にもいるのではないか。」

「賛成意見にある、統合して生徒数が増え、友人関係が広がったり色々な価値観に触れる機会が増えたりすることは、子どもの成長に大きな影響を与える要素ではないか。」

など、再編の検討はしていくべきではないかという意見があがりました。

最終的に、保護者代表は態度保留としたものの、これ以上の意見集約は困難であり、教育委員会において自由意見調査書を精査し、新たな提案をして欲しいとの意見でした。

これらを受け、富浦地区学校再編検討委員会としては、アンケートの賛否が拮抗していることや、富山地区のことも考えると、ここで検討を取りやめることはできないとし、富浦中学校の再編の方向性について、結論を保留することとしました。

今後、教育委員会においてアンケートの精査を行い、その結果によって教育委員会からの提案や、今後の富浦地区の状況の変化により検討を再び開始できるよう、協議を引き継いでいく方針となりました。